

# 緑沢沢登り報告

メンバー：L迫（単独）

日時：2005年9月8日（木）

山域：奥日光

ルート：緑沢（外山沢川）

目的：県内沢の調査？？

栃木県内にどんな沢があるのか？先日の古釜沢に続き県内の沢に行ってきた。

当初、9/6に予定していたが、大型台風到来と言うことで延期、8日か9日かで迷ったが、

天気予報と相談して、8日に決行！これが大正解。見事な台風一過の超快晴！！

前日に、サンカルに行ってしまいちょっと疲れが残る？状態だったがが、なんとか鞭打って出発。

6:00 アパート出発、安くなつた有料道路を使い戦場ヶ原手前の赤沼駐車場へ、平日と言うこともあって、人もいなくて静かでとても GOOD。

7:40 赤沼を出発し戦場ヶ原の散策道を小田代ヶ原へ（気温17℃：涼しい）

平日の誰もいない緑まだ濃い策動を一人進む、天気快晴！

とても気分が良い。

周りに人、物音なく、聞こえるのは鳥の声と、  
これから山行に期待と不安が交錯している己の鼓動のみ。

トイレ休憩（8:25）

弓張峠の先50m位の山道を左へ入り4.5分で外山沢川の橋に到着。ここで、装備を付けて準備をする、単独行と言うことで、カムなんかちょっと持ってきたけどこれらは、まだ出さずに最小限のものだけを着ける。

水量がかなり多く、ゴーロは歩いて行けそうにない。

8:40 入渓！

沢沿いは増水とゴーロで歩きにくい。そのため、川岸の土手沿いを歩く。踏み跡もあり迷うことはない。

何本か枝沢があり、他のレポートには迷うとあるが、全くそんなことは無かった。が、水量が少なく伏流になっていたりすると、迷う可能性はあるかと思われる。何度か渡渉するがやはり水流は強い。沢を眺めるには素晴らしいが大変。

10:10 庵沢と緑沢の出会い。他のレポートでは

緑沢は伏流とかいてあったが、この日は水量が多く、(3:2)の水量比程度であった。

緑沢側は見た目、木が生い茂り暗い感じのする沢であり、あまり好んで入りたいとは思えない沢のように見えた。

しばらく進むと明るく開け、(3:2)の二俣となり右が外山沢。これを左（緑沢）へ進む。

前方に岩壁が見える。この岩壁を右手に見てゴルジュを進み、小滝を2つ3つ越える。とその先にいきなり25mの緑滝が見えてくる。

今までのゴーロ歩きに疲れてきていた気持ちに、一気に火がともり、高ぶりと興奮を感じる。

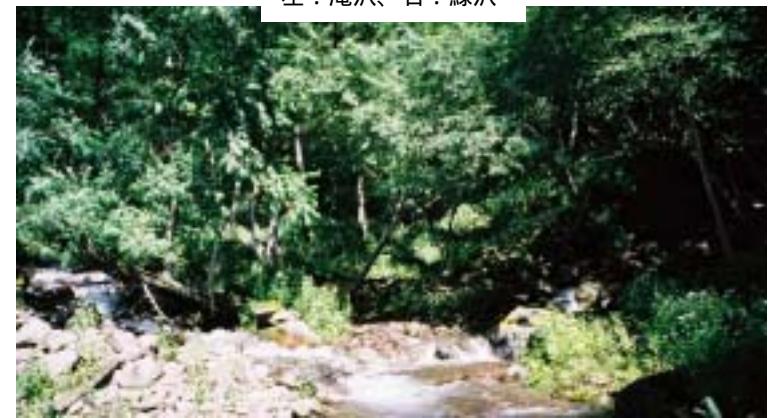
10:25 一度視界から消え、見えなくなる。が、それを過ぎると、ゴルジュ内の狭いところで正面には階段状の20mの滝（細め）が落ち、直ぐ右手から25mの緑滝が流れ落ちて出合っている。滝が近い！圧倒される。素晴らしい、今日は台風一過で水量が多く、バックの青空と相まって、写真で見るよりカッコいい！

しかし、これって直登できるのかしら？？4.5手登ってみるが、あっけなく敗退。水量が多く厳しい。支点がしっかりしていれば登れそうだが、4級位はあるだろうか。他のレポートでは、正面の滝（階段状の滝）を登り右にトラバースとあるが、今回は、右手を巻くことにした。が、泥で、滑りやすく、



入渓地の橋から

左：庵沢、右：緑沢



草つきも抜けやすくなっていた。(掴んだ草が抜け、足が滑りちょっとビビッタ)

この、緑滝を皮切りに素晴らしい滝達が自分を歓迎してくれるかのようにそして、試すかのように次々と現れる。



抜けるような青空と、素晴らしい滝に感動を覚えた瞬間

緑滝 25m : 右を巻く



緑滝の上の 20m 滝 : 右を直登

緑滝を右に巻いて越えると直ぐ目の前に 20m の滝が現れる。

緑滝に続いてこれですか～～と、あっけにとられていたが、よく見ると、右側を直登できそうである。

右の巻きルートへの逃げ道を見ながら直登を試みる。水量が多い! 冷たい!

単独だけに、いつも以上に慎重に登る。(難易度的には難しくないが、単独というプレッシャーが重い)

この滝を登りきると、今度は、続いてナメが続き、その先に 2 段 40m の滝が見える。

全く忙しい沢である。当然このナメも左側を直登する。水量が多いので慎重に登る。落ちると、20m 滝も落ちそうである。(それだけ滝が近い)

11:25 2 段 40m 滝 (右写真の最上段に見えるのが、1 段目)

他レポートでは、これも直登と書いてあった。確かにに行けそうである。が..... げ～～水量が多すぎ、4,5 手登ってみるが、呼吸困難になる。残念ながら、これも右から巻くこととする。ちょっと残念。恐らく、複数人で来ていればちょっと無理して直登していただろうが、素直に巻くことにした。

このあと、3m,3m,2m の小滝と

続き直登を慎重に繰り返す。

枝沢を 2 つ越えると 5m の滝が現れた。

他レポートにはこの辺は伏流になっているとあるが、なんの、しっかりした沢である。数少ない台風のめぐみであろうか。

(被災者の方ごめんなさい)

11:55 ~ 12:20 昼休み。

日当たりの良いところで、お握りを食す。「気分は最高！」である。きれいな沢を目の前にして、



ノンビリとした時間を過ごす。

至福の時である。

このあと、水量が少ないと水もないような、小ゴルジュを通り抜け、3段 6m 滝、3m 滝、2段 15m 滝を登ると、ほとんど水量が無くなる。

ここからは、自分の嫌いな、つめ上がりであるが、藪漕ぎもなく、谷筋を登るだけなので、難しいことも、迷うこともない。

13:58 上りつめると自分が予想していた付近の稜線にでた。

天狗平の5分位登ったところの標識（右写真）の裏手に出てきた。

（25000 図標高 2325 の西のコル）

14:03 天狗平まで歩き、一本とる。

ここで、装備を外し、靴を履きかえる。

ここから湯元温泉を目指して下るのみ。

普通の山道である。が、先の台風と今年の雨の影響でかなりガレており、下りはかなり悪かった。

ひたすら下る。清掃登山の時はスキー場を下ったが、今日は熊笹が深く足元も見えないので、素直に沢沿いを下る。

15:40 湯元温泉バス停着

16:11 のバスで赤沢まで戻る。



天狗平の5分登った標識の裏の稜線に出た。

（この標識の右手裏にでる）

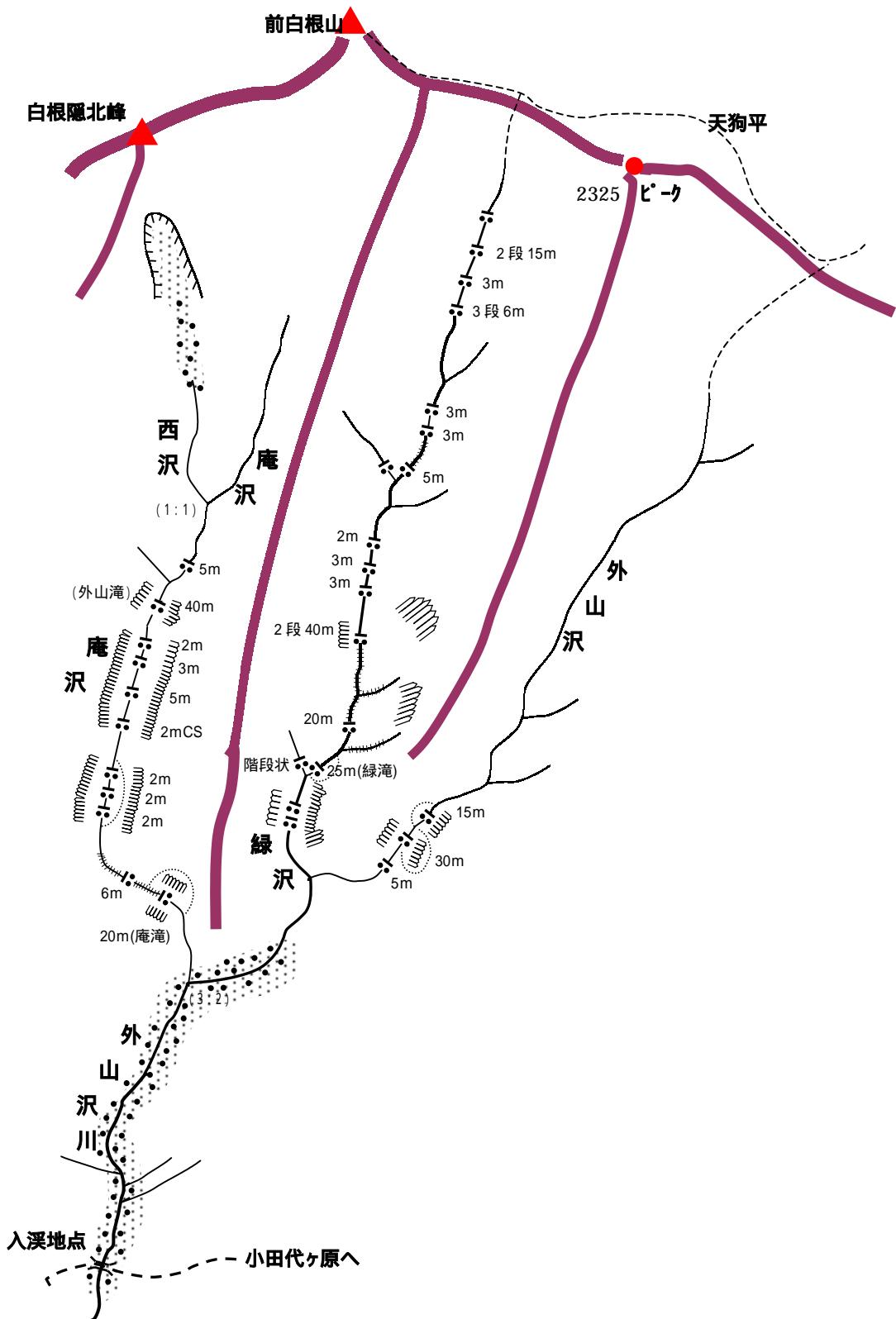
ということで、今回の単独沢登りは終焉を迎えた。

今回は極力直登することを目標にしたが、さすがに台風一過で水量が多かったため、2段 40m が直登できなかったのが悔やまれるが、ま、安全第一なので、よしとしましょう。



最後に今回の沢登りの成功を称えてくれた中禅寺湖からの夕陽

以下に遡行図を添付します。



遷行図は、下記ホームページより参照

<http://t621510.hp.infoseek.co.jp/index.html>